

## 平成28年度倉敷市立自然史博物館協議会 議事録（要旨）

開催日時) 平成28年7月22日（金）14時～15時45分

開催場所) 倉敷市立自然史博物館連絡室

協議事項) 平成27年度入館者数等について  
平成27年度事業報告および決算報告  
平成28年度事業計画および予算説明  
その他

出席委員) 榎本敬委員，大守秀行委員，鴨井香織委員，小橋理絵子委員，小林祥一委員，島岡浩恵委員，地職恵委員，堀江明香委員，三宅誠治委員

欠席委員) 河邊誠一郎委員

事務局) 中原誠二教育次長，松井哲也生涯学習部長，古谷太一館長，江田伸司主幹，狩山俊悟主幹，奥島雄一主任，武智泰史主任，石井陽子副主任

傍聴者) なし

### 議事録（要旨）

#### 1 開会

#### 2 開会あいさつ

中原誠二教育次長

#### 3 新任委員のあいさつ

堀江明香委員，三宅誠治委員

#### 4 委員自己紹介

#### 5 協議

・平成27年度入館者数等について

（事務局）資料をもとに説明。ライフパーク倉敷で開催した夏休み特別企画展「生命 過去から未来へ ～恐竜が倉敷へやってきた～ 林原コレクションより」を加えたため，過去にないほど多くの利用者数があった。

(2) 平成27年度事業報告について  
(事務局) 資料をもとに説明。

(3) 平成27年度決算報告について  
(事務局) 資料をもとに説明。

(4) 平成28年度予算説明について  
(事務局) 資料をもとに説明。

議長：事務局の以上の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。恐竜展を行って利用者が大幅に伸びたことは良いが、展示会が終わったあとに展示物をしまったままだと見ることができない。博物館の隣に大きな建物を建てていただきたい。

事務局：大型の標本は収蔵も展示もできない状態なので学校の空き教室に収蔵している。全国の博物館で収蔵品が常にいっぱい状態になっている。博物館がどうあるべきか、運営のあり方を考える必要があると考える。

委員：収蔵品は年間どれぐらいのペースで増えているのか。収蔵スペースの現状はどうなのか。

事務局：収蔵品の増加ペースは一定でない。多い時は年間数万点、少ない時は数千点。このような状況は今後10～20年ぐらいは続くという認識をもっているが、その後は徐々に減少するだろう。昆虫標本は小さいものが多いので、恐竜のようには場所をとらない。

委員：収蔵スペースのキャパシティはどうか。

事務局：本館だけではキャパシティを超えているので、仮収蔵庫と学校の空き教室を2か所にもっている。

委員：同じ資料は処分するなど、工夫する余地があるのではないか。

事務局：図書・雑誌の重複分は処分している。個体変異のある標本はデータとセットになっていて、同じものはないと考えている。

委員：学術的には全部保管する方がよいと思うが、何をするにもコストがかかる。

事務局：委員の皆さんの意見を聞きながら、一般の人にも理解してもらえるような説明をしていく必要がある。

議長：当館より先に開館した大阪市立自然史博物館と北九州市立自然史博物館はこの30年で大きな建物を建てた。長期計画を立てて、新しい建物を建てる必要があるのではないか。

委員：当館は地域に密着した地道な活動をしている施設。教育委員会や議員は何を評価するのか教えてほしい。

委員：建物は町の中央にある方が良い。収蔵スペースが右肩上がりになっているが、しっかり管理してほしい。学芸員の業績は素晴らしいので、しっかり研究できる環境を作してほしい。

委員：学校の空き教室を収蔵庫として使っているのなら、先生に扉を開けてもらって収蔵品を子どもたちに見てもらったらどうか。

事務局：恐竜は梱包されているので中身は見られない。昆虫標本を収蔵している中学校の先生には見ていただいても構わないと伝えている。

委員：建物が大きいと恐竜展に10万人ぐらいの来場者があるのではないか。

委員：恐竜を持っているなら見せてほしい。

委員：中央駐車場を図書館と同じように無料にしてほしい。英語のパンフレットや封筒ができていて素晴らしい。

事務局：中国語や韓国語への対応も必要と考えている。

委員：美術館のようにトイレをきれいにしてほしい。

議長：大学で植物標本を集めていたが、事務の人は古い標本から捨てていったらどうかと言う。そのようなことでは博物館の役割が果たせない。

委員：標本を取捨選択するという余地があるのではないか。

事務局：教育委員会が危機感をもつためにも貴重な意見と考える。

委員：新しい場所に博物館を作るという考えもあるが、交通の便が良くないとお客さんにはきってもらえない。当館はいい場所にあるので、それを活かしてほしい。

事務局：観光客をひとりでも多く呼び込みたい。市民向けの駐車場を増やすために図書館に行ってもらいたいという意見もある。観光客と生涯学習施設が共存できる道を探る必要がある。

委員：友の会の皆さんのおかげでよい活動ができています。会員数の推移はどうか。

事務局：ここ数年は900～1000人ぐらい。

事務局：インターネットの普及により、行事の案内などは会員でなくても知ることができるようになっている。また多くの行事が会員でなくても参加できる。これらの理由で会員数が伸び悩んでいるのではないか。

委員：他館とタイアップした事業はないのか。

事務局：8月9日から16日まで、玉島市民交流センターで大阪市立自然史博物館、当館、当館友の会が共催して瀬戸内海展を開催する予定。

委員：瀬戸内海の昆虫のことはあまり調べられていないので興味深い。

(5) 平成27年度事業計画について  
(事務局) 資料をもとに説明。

議長：事務局の以上の説明について、ご意見・ご質問等はありませんか。また、自然史博物館に関するどんなことでもよいので、ご意見・ご質問等はありませんか。

委員：特別展の解説書がある年とない年があるが、どうなっているのか。

事務局：今年は解説書の代わりにリーフレットを作成した。解説書を作るためには今回外国の資料や写真が必要になるが手に入らなかった。

委員：展示解説を聞きに来たが、解説だけでなく解説書があれば役に立つと思った。

議長：他にご意見ご質問等がないようですので、本日の協議を終了させていただきます。

5 第25回特別展「金銀銅の自然史」の概要  
(事務局) 展示室で担当学芸員から説明あり。

6 閉会あいさつ  
松井哲也生涯学習部長

7 閉会  
(事務局) これにて平成28年度倉敷市立自然史博物館協議会を終了する。



協議会終了後、第25回特別展「金銀銅の自然史」を見学。

以上を、平成28年7月22日開催の平成28年度倉敷市立自然史博物館協議会議事録（要旨）とすることに同意します。

平成28年 8月 1日

倉敷市立自然史博物館協議会  
会長 榎本 敬

